



平成 28 年 7 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社日本色材工業研究所
 代表者名 代表取締役社長 土谷 康彦
 (JASDAQ コード番号:4920)
 問 合 せ 先 取締役人事総務部長 瀧川 順
 (TEL. 03-3456-0561)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 28 年 4 月 15 日に公表致しました平成 29 年 2 月期第 2 四半期累計期間（平成 28 年 3 月 1 日～平成 28 年 8 月 31 日）の業績予想および平成 29 年 2 月期（平成 28 年 3 月 1 日～平成 29 年 2 月 28 日）の通期業績予想を、下記の通り修正致しましたのでお知らせ致します。

記

1. 平成 29 年 2 月期第 2 四半期（累計） 連結業績予想数値の修正（平成 28 年 3 月 1 日～平成 28 年 8 月 31 日）
 （単位：百万円）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	4,668	239	213	158	円 銭 32.10
今回修正予想 (B)	5,411	525	466	349	70.87
増減額 (B-A)	742	285	252	191	
増 減 率 (%)	15.9	119.3	117.9	120.8	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 2 月期第 2 四半期)	3,834	56	23	△24	△5.58

2. 平成 29 年 2 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 28 年 3 月 1 日～平成 29 年 2 月 28 日）
 （単位：百万円）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	8,704	370	310	224	円 銭 44.23
今回修正予想 (B)	9,688	703	611	450	88.59
増減額 (B-A)	983	332	300	225	
増 減 率 (%)	11.3	89.9	96.9	100.3	
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 2 月期)	8,711	500	416	243	56.43

3. 平成 29 年 2 月期第 2 四半期（累計） 個別業績予想数値の修正（平成 28 年 3 月 1 日～平成 28 年 8 月 31 日）
 （単位：百万円）

	売 上 高	経 常 利 益	四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
前回発表予想 (A)	3,796	157	97	円 銭 19.85
今回修正予想 (B)	4,579	412	291	59.19
増減額 (B-A)	783	254	193	
増 減 率 (%)	20.6	161.9	198.1	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 2 月期第 2 四半期)	3,141	54	5	1.20

4. 平成29年2月期通期個別業績予想数値の修正（平成28年3月1日～平成29年2月28日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	7,041	206	113	円 銭 22.33
今回修正予想（B）	8,206	517	349	68.81
増減額（B－A）	1,165	310	236	
増減率（%）	16.6	150.2	208.2	
（ご参考）前期実績 （平成28年2月期）	7,094	370	185	43.08

5. 業績予想の修正の理由

①平成29年2月期第2四半期（累計）の業績予想数値の修正の理由

平成29年2月期第2四半期累計期間の個別業績は、売上高は、国内顧客からのインバウンド需要やアジア・アセアン市場における需要等を背景とした受注が追い風となるとともに、新製品の受注が好調であることを受けて、計画を大幅に上回る見込みであることから上方修正致します。その結果、増収効果が寄与し、経常利益、四半期純利益は、前回発表予想を上回る見込みです。

平成29年2月期第2四半期累計期間の連結業績は、上記個別業績予想に加え、フランス子会社であるTHEPENIER PHARMA INDUSTRIE S.A.S.（以下テプニエという）においても、主力の医薬品の生産が堅調であることから、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益はいずれも前回発表予想を上回る見込みです。

②平成29年2月期通期（累計）の業績予想数値の修正の理由

平成29年2月期の通期の個別業績は、アジア・新興国における景気減速懸念、英国のEU離脱問題に端を発した急速な円高の進行もあり、国内顧客からのインバウンド需要やアジア・アセアン市場における需要動向には、先行き不透明な要因はありますが、年内は引き続き業績を牽引していくことが期待されることから、前回発表予想の売上高を上方修正致します。その結果、増収効果が寄与し、経常利益、当期純利益は、前回発表予想を上回る見込みです。

また、平成29年2月期の通期の連結業績は、個別業績予想に加えて、テプニエ社において引き続き主力の医薬品の受注が堅調に推移する見込みであることから、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益はいずれも前回発表予想を上方修正することと致します。

（注）上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後発生する様々な要因により当該予想値と異なる結果となる可能性があります。

以上